

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 2 H30. 4.



水の入ったバケツに、ペットボトルを沈めようと思っててもできないよお！

こどものやる事には訳があるね。

玉入れの籠に赤い玉を投げ入れる小さい年少さんを暫く上手に遊んでくれていた年長組の A 君。飽きて園庭に走り去る年少さんを見送ると、一人で、そばに置いてある青いバケツめがけて玉を入れ始めた。上に投げ入れる事は上手な A 君だが、低いバケツに向けて投げると中々入らない。そばに近づいて投げてみるが妙にバケツの外に落ちてしまう。それでもどの位やり続けたらう？ 1つ2つと入りだして・・・すると、今度は、自分がバケツから序々に下がって玉を投げ始めた。近くで玉入れに成功した A 君は、ちょっと遠くからはどうかな？と考えたのだろう。難しい言葉では言わなくても、A 君は玉を投げる手の力と低いバケツまでの距離を確かに見定めながら、調節していたのだと思う。高い籠と低いバケツでは投げ方や力の入れ方も違う事を身体で学んだに違いないと思いながら見守りました。

こどものことは

玉投げをしていた年少さん、まじまじと赤い玉をみて・・・

U 君「これ、ピーマンみたい」
H 君「これ、おにぎりみたいだね」
・・・といいながら、玉投げをしていたよ。

砂場で、ままごと遊び中

年中 K 君「いつでも飲めるようにお茶持ってきて」・・・とカップを渡すと
S ちゃん「水？」
K 君「水がお茶の代わりなんだで」

4/12

鉄棒に向かって

年中 S 君「おれ、やる気まんまんだで～」
と言いながら、高い鉄棒でぐるりと前回り。

4/12ころころドッジ中

逃げ回りながら

年長 K 君「ゆだんたいけつだ！」
園長先生「それは、ゆだんたいてきだわ」

服の着替え時うさぎ組の R ちゃんに
K 先生「可愛い服だね」
R ちゃん「これ、ママがえらんだ」



これ、僕の兄弟

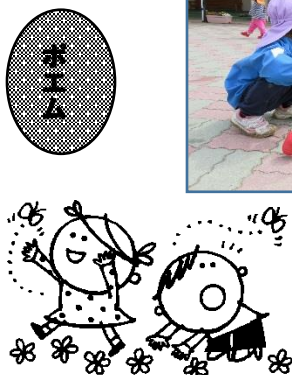
4/11慣れない登園で不安そうな新入児も、園庭に出れば、笑顔で遊びだせる。だから、この4月当初は極力園庭に出て、大きい年長さんや年中さんと一緒に遊べる時間を長く取るようにしている。フラフープをぎこちなく練習している園長先生のそばに、年長組の女の子が集まり「何で出来んの？」と言いながら、年中組の時、自信をつけたフラフープの腕前を次々と見せてくれる。その横では、年中さんと年長さんが混ざって、ころころドッジボールを楽しんでいる。「いれて！」と入って先生が二人になったとたん、こども達はがぜん張り切って、動き始める。「コロコロダイナマイトだ～！それ！当たった子は外に飛んでいっちゃうんだよ」と声を掛けながら、二人の先生は、園の外からボールを転がし、中のこども達は、ボールにあたらいと右往左往逃げ惑う。ゆつくりのボールもあれば、スピードの時もあって、そのスリルを楽しんでワイワイキヤーカー。その遊びの中で、こども達は沢山を学んでいく。小さい子が投げた弱いボールは、円の中で止まってしまう事も度々、「完全に止まったら中に入って取っていいんだよ」の先生の声に、すでに当って外に出た子達は、そのボールを息を飲んで見守り、止まった！の瞬間に動き出す。しかも最初に手に触った子が貰えるとあって、その競争はすさまじい。最後一人残った足の早い Y 君に何とか当てたいと、ボールを投げる場所や角度を見極めるが、機敏な Y 君の足には敵わない。1回目のチャンピオンは Y 君となった。「もう一回やりたい！」と意気揚々のこども達。「じゃあ線が消えちゃったで、年長さんは靴で線を書いて」と頼んだが、平らな底をずって行くだけ。「靴を横にして線を書くと良く書けるよ」とやってみせる園長先生の後ろにずらりとこども達。やっときれいに書き直した円に大勢入って2回戦目が始まった。途中、年少さん二人がのんびりと三輪車で円の中心を通過。「ちょっと、ストップ！」「あ～あ～しょうがないなあ？」そんな大きい組の子達のため息が聞こえそうな一瞬を過ぎ、2回戦目が終わる・・・や否やどこからか「アンコール」「アンコール」の声。声。声。ふらふらになりながら3回目を終えて今日のコロコロドッジは終了した。遊びの中での学びって、数え切れないね。

4/12 この日も朝から、始まったころころドッジでした。



4/12 お兄ちゃんやお姉ちゃんに遊んでもらう内はともにごきげんな未満児組の皆だったけど、片付けで、お姉ちゃん達と離れたとたん、大泣きで、大変だったと・・・でも給食のいちごにつられて泣き止み、もりもり食べたね。

★チヨウチヨウ



ころころなら
こんなにかいなの・・・
そういつて
でてるのかしら
もじゃもじゃけむしから
いつも
チヨウチヨウは

まじみちお